

平成29年度埼玉県西部保健医療・地域医療構想協議会 地域医療構想作業部会 議事概要

【日 時】 平成29年10月16日（月）午後7時から8時30分まで

【会 場】 狭山保健所大会議室

【出席者】 協議会委員 別紙委員名簿のとおり 25名中 22名出席(代理出席1名)
部会委員 別紙委員名簿のとおり 24名中 24名出席(代理出席1名)
事務局 別紙委員名簿のとおり
傍聴者 なし

1 議 事

(1) 埼玉県西部地域保健医療・地域医療構想協議会に関する議事

- ① 地域医療構想作業部会の部会長選出
- ② 追加委員承認

(2) 地域医療構想作業部会に関する議事

- ① データから見る西部地域の医療提供体制の現状について
- ② 医療機能の分化・連携に向けた地域医療介護総合確保基金の活用について

2 議事内容

(1) 埼玉県西部地域保健医療・地域医療構想協議会に関する議事

- ① 地域医療構想作業部会の部会長選出
→京谷会長が部会長を兼ねることを決定した。
- ② 追加委員の承認
→国立病院機構西埼玉中央病院 成宮学院長と明生リハビリテーション病院 瓜生田曜造院長が新たに地域医療構想作業部会の委員として承認された。

(2) 地域医療構想作業部会に関する議事

- ① データから見る西部地域の医療提供体制の現状について
資料1及び資料2により保健医療政策課職員から説明が行われた。
(質疑等)
地域医療構想作業部会が、地域医療構想の病床機能ごとの必要病床数の数字合わせのための会議になるのではないかという疑義があった。保健医療政策課から地域医療構想の必要病床数は議論のための目安であり、地域の医療需要を見極め、圏域でより適切な議論を行ってほしいとの回答を行った。
- ② 医療機能の分化・連携に向けた地域医療介護総合確保基金の活用について
資料3及び資料4により医療整備課職員から説明が行われた。
(質疑等)
地域医療介護総合確保基金の人材確保分野の予算を増額すべきであるという意見が出された。医療整備課から国への補助の増額や基金内の流用などの要望を引き続き行っていきたいとの回答を行った。